

適切な説明・行政運営を

令和7年10月28日 総務文教委員会

総務文教委員会では、最近の行政運営に関して、町長発言と実際の事業運営、議会への説明との間に相違や不明確な点が見受けられたことから、行政運営における説明責任、事業執行の透明性・公平性を確認するため、調査を実施した。

主な調査内容

① 行政運営に関する説明責任

豊山スカイプール事業について、町長発言、町広報、教育委員会による説明内容を整理し、それぞれの相違点を確認した。また、令和7年度の事業中止について、総務文教委員会への報告が行われなかった経緯を確認した。



② 町長発言と行政運営への影響

第5次総合計画後期基本計画に関する町長発言の趣旨と、首長としての関与、責任との整合性について確認した。また「タウンミーティングを3カ所で開催した」との町長発言について、その真否、実施状況を整理した。



③ 委託事業、予算関連事業の透明性・公平性

防災井戸について、設置目的と実際の運用状況との乖離、管理体制の在り方を確認した。さらに、ワインターフェスでの運用経緯を確認するとともに、委託事業における透明性・公平性、出店手続きの妥当性、町の監督責任について整理した。



むすび

行政運営において、説明内容と実際の事業執行が一致していること、また意思決定の過程が町民、議会に対して適切に示されることが重要である。今後も、本調査を踏まえ、適切な行政運営が行われているかについて、委員会として継続的に確認していく。

